

吹 奏 楽

Condensed Score

スラブ女性の別れ

(Slave woman's farewell)

Music by Agapkim 三上次郎編曲

これは19世紀ロシア帝政時代のマーチで、ロシア民謡風な、短調の旋律を用いて作曲された、豪快な曲である。作曲者アガプキムについて、詳しい事は不明であるが、“ドナウ河の漣”の作曲者である、ルーマニアのイヴァノヴィチ（1848～1905）と同時代の人で、恐らく当時の、音楽隊長だった人であろうと考えられる。

尚、この曲は、〔帝政時代のバンドコンサート〕というレコード（A、エンジェルFR-40160）に収録されている。

この曲は、オーソドックスなマーチの形式をとっており、旋律も覚え易いし、各楽器、セクションの役割りもハッキリしている。各々自分の楽器の役割りを把握した上で、演奏に臨んで欲しい。全体的には、力強い印象を与えるような演奏を、心がけるとよい。部分的に見てみると、⑧と⑨は同じ旋律であるが、⑧は低音の力強さ、⑨は中音の豊かな響きを強調し、その対比を味わえるような演奏にして欲しい。⑩と⑪も同様、⑩ではトランペットの力強さ、輝かしさ、⑪では中音の豊かな柔かい響きというように、特徴づけること。⑫からは再現部である。提示部より一段と力強く演奏し、終るように。尚この曲には、E・BassとE・Gtは使用されていない。

Tempo di marcia

(Tutti) *f* *tr* (w.w) **A** (Tp) *mf* (Hr)

(w.w) **B** *f* (Tp)(Hr) *f* (Basses) *f*

スラブ女性の別れ

(Slave woman's farewell)

TP.1

Music by [^]
三上

Tempo di marcia

The musical score for TP.1, 'Slave woman's farewell', is written for a Tenor Part 1 (TP.1). It is in 2/4 time and the key of D major (one sharp). The tempo is marked 'Tempo di marcia'. The score begins with a forte (*f*) dynamic and includes several measures of music with accents and a first ending marked with a circled 'A'. The dynamics vary throughout, including mezzo-forte (*mf*) and forte (*f*). The score concludes with a repeat sign and a first ending marked with the number '8'. A large, light blue 'SAMPLE' watermark is overlaid diagonally across the entire page.